
わたしは復讐者

犬神コウタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

わたしは復讐者

【Zコード】

Z5238E

【作者名】

犬神コウタ

【あらすじ】

私の名前は三月雪兎、白兎の双子の姉であり、病弱さを理由に田舎にある叔父の病院へと両親から捨てられた女だ。そんな私を捨てた暖かい家庭で幸せに育っているであろう白兎への復讐のため、高校の入学とともに家に舞い戻った。

復讐の始まり

三月 白兎 それが私のもつとも憎むべき者の名だつた。

片割れであり、私が持つていらないものを持つ者。

私の名前は三月 雪兎、白兎の双子の姉であり、病弱さを理由に田舎にある叔父の病院へと両親から捨てられた女だ。

復讐の始まりを告げる鐘としては、インター ホンの音は間抜けかなと思う。

それでも、これが私の一つの区切りになる以上、緊張しながら力を込め鳴らす。

ピーン ポーン、と普段通りの音が響く。そんなことをして押したところで変わらない。

分かつっていたが、若干落胆は感じてしまう。

もつとも、復讐の開始に相応しい鐘というのも、思いつかないのでこれでいいのかもしれないが。

ただ、いちばん予想外だったことは返事がなかつたことだった。捨てられた娘が、一家団欒の食卓を囲むであろづ、この夕暮れに突然の帰宅。

あまりの事態に騒然とする食卓というのを確定していた私には、留守の可能性というのが思考の範疇からすっぽりぬけていた。

あく、確かに外から見た家は明りがついていなかつたなあとか、今になつて思い至つたが、不退転の覚悟でインター ホンを押した私はすでに引き際を失つている。ブチンと、本気でキレてインター ホンの連打を開始する。

「このばかアホ & × % \$ #……」

思つつく限りの雑言を叫びながら、連打し続けた。結局、それが功を奏すことなく、叫び疲れて泣きつかれて座り込んだところに、

今しがた帰ってきたと思われる少年に声を掛けられた。

「えーと、うちになにか用ですか？」

例えば、『Jの世で一番惨めな』ことは復讐の対象に声を掛けられほつとしてしまつことだと想ひ。

私は、その惨めさで今泣いたのだ、断じて寂しかつたから涙を流していたわけじゃない。

「なんで留守なのよ！」

「ひとが来るなんて聞いてなかつたもので」

しつと、少年　　白兎はそう言い放つ。

全く、ひとが来るなら連絡くらこしといてくれよと、

白兎がここにいな両親に愚痴る。

慣れた対応のようだつた、両親と連絡がつまくこつてことすひ。

「ちょっとまつて、今携帯しますので」

そういうて、白兎が懐から携帯を取り出そうとする。電話されても困る、いきなりの訪問だつたのだ。

「どつちとも、約束してない」

それを聞いた白兎は、たいした用事じやないと判断したらし。

「なら、出直してください」

一言そういうと私を避けるよつて家に入へりつとする。

「家族が来るのに、約束がいるのー！」

本来なら、もつと早く私が誰かを白兎が『氣づき、私に『氣』を使つべき』なのだが、

一向にそんなことない白兎にカチンときた私はつこやつ怒鳴つてしまつ。

顔をまじまじ見て、数瞬思い出そつとする仕草をする。

「えーと、もしかして、雪兎とか名前の俺の姉さんだつたりします？」

それから、確認するかのようそんないと聞いてきた。

ひどいことに、こつはまつまで私　　雪兎だと氣づいてすひこなかつたのだ。

そんな再会だったので、私の復讐の日論見は見事に打ち砕かれたのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5238e/>

わたしは復讐者

2010年11月12日20時06分発行